



内田三重大学学長

三重大学伊賀拠点の活動状況



三重大学伊賀研究拠点

三重大学伊賀拠点の活動について、 内田学長にお話を聞きました

問 平成21年4月3日に、三重大学伊賀研究拠点が伊賀市の「ゆめテクノ伊賀」内に誕生して半年が経ちました。開設以降の取組についてお伺いします。

このような大学の研究拠点では、産学官関係者向けの専門的なセミナーを中心に行うのが一般的ですが、この研究拠点は伊賀市民・名張市民のためにつくられたものです。従って、専門的な分野も必要ですが、伊賀市民・名張市民に喜んでいただける取組が大切であると認識しています。

従って、7月3日の「産学官関連セミナーin伊賀」や9月25日の「伊賀先端テクノロジー研究会」などの産学官関係者向けのセミナーだけでなく、上野東小学校や大山田小学校での出前講座、リラクゼーションセミナーの開催、「伊賀の産業展2009」に伊賀研究拠点での展開事業・研究のパネル展示と体験型ミニ工作教室を行うなど、伊賀地域の方々向けの催しも実施しています。

問 伊賀市民や名張市民が興味を持つような研究テーマの具体的なイメージを教えてください。

伊賀地域は松尾芭蕉や忍者の里として有名で、文化的・歴史的な魅力に富んだ地域です。忍者の健康維持や生活観などからは保存食へのヒントが多くあると考えられます。このような保存食は災害などが発生し、食べ物が無くなってしまふことを想定すると非常に有用な研究になると思います。

そのほか、三重大学には松阪牛の研究に優れた教授がいますが、この研究を伊賀牛に応用すれば地域の方々へ貢献できるものと思っています。



「出前講座」上野東小学校

問 今後の伊賀拠点で目指すものについてお聞かせ下さい。

まずは、皆さんに伊賀拠点のことを知って頂くことが大切です。大学や行政だけでなく進めるのではなく、伊賀市民・名張市民に知って頂き、協力して一緒に盛り上げて行くことが必要です。

皆さんに知って頂くためには、まずはプロダクツの成功体験が必要です。例えば、薬草を使った健康食品などができれば、情報発信がしやすくなります。この面ではメディカルバレープロジェクトの協力も必要であり、大いに期待しています。



「伊賀の産業展2009」工作体験

メディカルバレー企業紹介

健康スタッフで信頼される製薬事業

ニプロファーマ株式会社 伊勢工場

ニプロファーマは薬の町として有名な大阪市中央区道修町に本社がある医療用医薬品メーカーです。最新の製造装置と管理技術体制を基盤に「医療用各種キット製剤開発・製造」、「医薬品受託製造」、そして「ジェネリック医薬品製造」の個性ある3つの事業を展開しています。今回は伊勢工場の工場長である久保常務にお話を伺いました。



業界団体活動等にも頑張っております。

また、良い薬をつくる条件として社員の健康は必須条件と考えています。その結果として、三重県健康福祉部の平成21年度の「健康づくり推進事業者」に認定されました。

他では三重大学をはじめ、他府県大学の早期体験学習授業の一環として工場研修の受入も実施しています。当事業所で研修された学生さんが将来、みえメディカルバレー関連のお仕事で頑張ってもらえれば大変嬉しいですね。



多数ある候補地のうちで、三重県に工場を立地したひとつの理由にきれいな水があります。製薬会社は大量のきれいな水が必要となりますが、特に私達のように薬剤容器や部材も製造する会社にとっては薬液のみならず、これらの洗浄や滅菌にもグレードの高い豊富な水は不可欠です。

異物混入の防止、無菌性の担保を行うため、医療用容器の成型から薬液の充填やキャッピングなど外気に一切触れずに一貫生産をしていることから、24時間稼働の自動化工場となっています。そのため3交替制で総勢680名の社員を擁する大きな事業所となっています。

健康や生命に係る仕事なので、知識だけでなく信頼のおける人材であることが重要です。特に他の医薬品メーカーからの委託を受けて製造した製品は、何かミスがあると薬の使用者の方だけでなく、委託して下さったメーカーにもご迷惑をかけることになります。

また昨今、医薬品の安定供給と併せて、環境側面や安全側面にも注力し、環境や安全マネジメントを主体とするISO活動にも取り組んでいます。地域の方だけでなく、お客様にもご心配をお掛けしないように、廃棄物、排水の処理、防火、騒音、エネルギー対策など地球環境にもやさしい事業所で有るべく、従業員教育や

伊勢工場

〒515-2302
松阪市嬉野天ヶ寺町647-240
TEL/0598-42-6531 FAX/0598-42-6533
URL/http://www.nipro-pharma.co.jp/
創業/昭和23年8月

美と健康 そして美味しさを皆さんへ

辻製油株式会社



辻社長

辻製油はとうもろこし油で国内4割のシェアを占めています。本社工場は製油のためのエネルギーを全てバイオマス熱利用で賄っているほか、油粕を肥料や飼料として有効利用しているゼロエミッション工場です。また、製油事業で培った抽出技術・精製技術・発酵技術を活かして機能性事業を展開しています。今回は辻社長にご登場頂きます。

のために、地元の農家と組んで三重県をゆずや黒にんにくの一産地にしたいと思っています。地域の活性化のためには異業種交流が必須であり、そのためにメディカルバレーの様々な分野の方々との交流を深めていきたいと思っています。

当社は高純度・高機能レシチンを製造するオンリーワン企業です。レシチンは大豆・菜種から抽出精製した乳化剤で、用途としては、食品・化粧品・医薬品・工業用品など多岐にわたっています。

とうもろこしの胚芽や大豆からはセラミドも抽出しています。セラミドは人間の皮膚の角質層の細胞間脂質の55%を構成する成分で、季節的要因や加齢により不足し、乾燥肌の原因となります。当社では、食品素材だけでなく、セラミドの優れた保湿効果を利用した化粧品も製造しています。また、魚の鱗や皮より抽出精製し、臭いなく低分子化することにより肌に

浸透しやすくしたコラーゲンペプチドを、化粧品素材として提供しています。

そのほか、香料原料としてのゆずの皮から抽出精製したオイルや、グミ・キャンディーなどの食品に使っていただける普通の黒にんにくの10倍以上の抗酸化力がありポリフェノール含有量も増加した黒にんにく、唐辛子より超臨界二酸化炭素抽出で取り出した油溶性成分を高機能レシチンと可溶化技術駆使して水溶性したホットチリエキス（ナノカプサイシン）など様々な製品を製造しています。

日本の食料自給率が低いのは周知の事実で、これを如何に高めていくかが急務です。そ



本社

〒515-2314
松阪市嬉野新屋庄町565-1
TEL/0598-42-1711 FAX/0598-42-7911
URL/http://www.tsuji-seiyu.co.jp/
創立/昭和22年4月